

鐘ヶ淵地区まちづくりリニユース臨時号

発行：鐘ヶ淵地区まちづくり懇談会 / 事務局：墨田区都市計画部防災まちづくり課 03-5608-6260

鐘ヶ淵駅付近の踏切解消に関する要望活動について

平成28年6月27日(月)に鐘ヶ淵駅周辺地区に関連する町会、自治会、商店街の代表者連名で「鐘ヶ淵駅付近の踏切解消に関する要望書」を東京都に提出しました。

東京都からは以下のとおり意見をいただきました。

<東京都の主な意見>

東京都としても、鐘ヶ淵駅付近の連続立体交差事業は以前から重要な案件と捉えており皆様と一緒に取組みを進めていきたいと考えております。連続立体交差事業は、単純に鉄道の立体化を行うだけではなく、一緒にまちづくりを進めることが重要です。

今回「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」が策定されましたが、駅前広場やアクセス道路整備等について、これから地域が一体となって検討を進めていただければと思います。

事業候補区間に位置付けるためには、駅前のまちを考えた場合に駅前広場の整備も課題になってきます。

また、鐘ヶ淵駅付近の鉄道線形は急カーブとなっており、基準に合わせるために緩やかにすると少しまちに寄ってしまう課題もあります。地元の皆さんが一致団結をして事業実現の可能性を考え、協力のもと合意形成を進めていただきたい。

<今後の取り組み>

墨田区では、新たに策定した「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」を前提に、連続立体交差事業に合わせた駅前広場等の事業化の実現に向けて、さらなる具体化を図ってまいります。

～要望書提出の様子～



【上段左から】

加藤都議、桜井都議、堀区議、はねだ区議、瀧澤区議、北村鐘ヶ淵町会会長、山口梅若西町会会長、川邊隅田西町会会長、としま区議、戸田隅田中睦町会会長、廣瀬梅若町会会長、河原隅田中央町会・鐘ヶ淵通り商店街平和会会長

【下段左から】

高野副区長、佐野建設局長、邊見都市整備局長、阿部隅田西町会顧問

●●● 裏面に続きます

鐘ヶ淵駅付近の踏切解消に関する要望書

東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)鐘ヶ淵駅付近は、墨田区の向島地区北部に位置し、鐘ヶ淵駅から南へ東向島駅、曳舟駅、とうきょうスカイツリー駅を結ぶ路線です。この路線は一部で高架化されているものの、鐘ヶ淵駅付近では、鐘ヶ淵通り(補助第一二〇号線)と平面交差しています。

この鐘ヶ淵の踏切は、一時間当たりの最大遮断時間が約四十一分となっており、地区の交通障害の原因となっているだけではなく、鉄道による地域の分断、ひいては地域の発展の大きな阻害要因となっています。高齢者や児童、生徒の安全確保の観点からみても、踏切がこのままではあまりにも危険といわざるを得ません。

また、東京都は鐘ヶ淵通りの拡幅整備について、平成十七年の一部事業化の後、残る区間の事業化を平成二十六年三月に行い、平成三十二年三月までに道路拡幅をしようとしています。この拡幅整備により、墨堤通りや水戸街連からの通過車両の流入が多くなることが想定されますが、拡幅後も踏切は残り、より一層の交通障害等を招くことが容易に想像できます。鐘ヶ淵地区に住む地域住民にとって、踏切の問題こそが最優先に解決されるべき課題であり、この問題を明確にしてこそ、鐘ヶ淵通りの道路拡幅や諸々のまちづくりが推進されていくものと考えております。

東京都におかれましては、是非とも、地元住民の熱意を御汲み取り頂き、我々の長年の悲願であります鐘ヶ淵駅付近の踏切解消を一日も早く実現いただくため鉄道立体化の早期実現に向け、連続立体交差事業の候補区間にしていただくことを、強く要望いたします。

平成二十八年六月二十七日

東京都知事 殿

発起人(代表)

隅田西町会

顧問

阿部恒男

隅田中睦町会

会長

戸田好昭

隅田西町会

会長

川邊政也

鐘ヶ淵町会

会長

北村嘉津美

梅若町会

会長

廣瀬克之

隅田町東町会

会長

有村望祐

梅若西町会

会長

山口良三

東向島親交町会

会長

新日島秀

隅田中央町会

会長

河原勝子

寺七西町会

会長

望月重一

玉の井町会

会長

石田有泉

八広六西町会

会長

泉孝延

都営墨田四丁目自治会

会長

飯嶋竹男

梅若商栄会

会長

三浦孫一

鐘ヶ淵通り商店街平和会

会長

河原勝子

個人情報保護のため印影は消しています。